

# TO 講習会 参加報告書

令和4年7月17日

報告者 鎌田 朱里

この度参加しました、TO 講習会について報告します。

なお、この報告書が、愛媛県バスケットボール協会ホームページ等に掲載されることを了承します。

<b>講習会名 (大会名)</b>	W リーグ サマーキャンプ2022
<b>参加者 (報告者)</b>	(報告者) 鎌田 朱里 (所属カテゴリー) 社会人連盟
<b>期 日</b>	令和4年7月15日から令和4年7月16日
<b>会 場</b>	高崎アリーナ
<b>講 師</b>	JBA 暫定 TO インストラクターの皆様
<b>参加者</b>	都道府県のトップリーグ(B1・B2・B3・W リーグ)TO 担当者
<b>報告</b>	<p>大会開催10日前に Zoom を使用した事前ウェビナーが開催され、2021-22シーズンの TO 状況や2022年4月に発行された TO マニュアルの解説が行われた。</p> <p>ゲーム1 7月15日17:00~(1Q・2Q) トヨタ自動車-日立ハイテク                  タイマー：報告者</p> <p><b>【IR：堀口拳氏】</b></p> <p>ショットクロックが残り14秒を切った時やEOQ(ゲームクロック残り30秒、24秒、14秒)のコミュニケーションで、SCOはクロックの残秒より、特にプレーに集中しなければいけない時間帯であるので、TRが確実にカウントダウンを行わなければならない。またシュートが入った直後のタイムアウトで、ゲームクロックのストップが遅かったので、審判の笛と同時に止められるようにシュートが入った後はタイムアウトの請求があることを予測し必ずベンチを一度確認する癖をつけるとより良くなるのご指摘をいただいた。タイマー系の反省として、パートナーに合わせた声掛けや立ち振る舞いをすることで、もっと余裕のあるクルーワークができたのではないかとのご指摘もいただいた。</p> <p>ゲーム2 7月15日19:00~(3Q・4Q) トヨタ紡織-鶴屋百貨店                  ショットクロック：報告者</p> <p><b>【IR：古見高広氏】</b></p> <p>バイオレーション等でショットクロックが14秒や24秒から再開する場合、リセットスタートボタンを押し、すぐにストップ/再スタートボタンを押し待機、(この時点でショットクロックは約0.1秒進んだ状態になっている)ここで、再スタートボタンを押して再開するのではなく、リセットスタートボタンを押して再開すると14.0秒あるいは24.0秒からスタートできるので注意する必要がある。私自身の反省として、オフンスリバウンド等で14秒リセットにする際、24秒が一瞬表示されるケースが多々あった。機材の動作確認をする際、その機材の特性を理解する為に手指の配置や画面表示等、様々な場面を想定して予め練習しておく必要性を感じた。</p>

	<p>ゲーム3 7月16日13:00～(1Q・2Q) 鶴屋百貨店一姫路          タイマー：報告者  <b>【IR：古見高広氏】</b>          ゲームクロックをストップする際、遅れて手が挙がっているので、ストップと同時に手を挙げる努力が必要である。またイレギュラーなことが起きた時、ストップの声は鋭く強く出すことで、ミス回避に繋がる。ゲームクロックが流れた可能性がある場合、必ず審判を呼び、起きた出来事、判断材料等を端的に伝える。今回はSCOのフォローがあり修正できたが、何も伝えずそのまま再開するとトラブルの原因になる。良かった点として、TOミーティングで両チーム交代が多くなることを予測し、SR、ASCが交代に気付いていない場面でフォローができた。代わりにブザーを押そうとしたが、ブザーが鳴ることでSR、ASCの業務が途切れてしまう恐れがあるので基本的に交代のブザーはSRが押す。SR、ASCの業務が落ち着いてからでも交代は遅くないので、気付いてもらえるようにしっかり促すことをご指摘いただいた。</p>
<p><b>所感</b></p>	<p>コロナ禍で多くの試合や活動が制限される中、今大会が無事開催されたことに大変感謝しております。今回の派遣は私自身初めての派遣であり、緊張と不安がありましたが、全国各地で奮闘する仲間と出会い、とても刺激のある良い2日間になりました。</p> <p>今大会では3試合、タイマー系を担当しましたが、自信に繋がった部分や新たな課題を発見することができました。また東京オリンピックを担当した方々も参加されており、情報共有等もできました。今後、更にTO業務が重要視されますが、TOマニュアルの理解・浸透や「分かる・知っている」から「できる」へのステップアップをしていく為に、今大会の経験を自身のTO業務に活かし、県内のTO担当者にも還元していけるよう努めてまいります。</p> <p>最後になりましたが、今大会を運営・開催していただいた関係者の皆様、このような機会をいただきました愛媛県バスケットボール協会をはじめ、TO委員会の皆様に深く感謝申し上げます、私の報告とさせていただきます。本当にありがとうございました。</p>

※ 原文のまま、ホームページ等に掲載されます。

※ 用紙が足りない場合は、各自追加してください。